

【棚田保全】

次世代を担う子供たちに豊かな自然と景観を残す



活動の場所

- ・松崎町「石部棚田」
- ・菊川市上倉沢「せんがまち棚田」



活動目的

- 1.豊かな自然と景色を子供たちに残すため、棚田保全活動に取り組む。
- 2.地域の原風景の中に、古来、地域に生息していた生物を呼び戻す環境づくりを行う。
- 3.家族で活動に参加し、環境保全や生物多様性についてコミュニケーションを深めると共に、環境教育の一助とする。

活動内容

- 静岡県松崎町「石部棚田」、菊川市上倉沢地区の「せんがまち棚田」のオーナーとなり、地元の方々とのつながりを大切に、メダカやイモリが棲む美しい景観と豊かな生態系を守ること自然の大切さを子どもたちに伝える活動をしています。
- 5月には田植え、10月に稲刈りに参加し、収穫したうるち米やもち米は児童福祉施設へ寄贈しています。
- 田植えや稲刈りを通じて、自然とふれあい、貴重な農業体験の場となっています。
- 「せんがまち棚田」における生物多様性セミナーに参加するなどして、リテラシー向上にも努めています。
- 2024年度は2つの棚田の保全活動に累計282名が参加しました。



PRしたいポイント

- 生物多様性の確保につながる棚田保全活動への参加
- 棚田およびその周辺に暮らす生物の観察などを通じた環境教育
- 地域の原風景や固有種の保全による地域再生
- 収穫した「うるち米」などを地域の児童福祉施設等に寄贈する社会貢献活動

活動効果、今後の展開 等

- 農林水産省の「つなぐ棚田遺産」オフィシャルサポーターに認定。
- 今後も継続的に日本の原風景である棚田の保全活動を行うと共に、地域の活性化に繋がる活動を行っていく。

「小さな親切」運動静岡県本部

<http://www.across.or.jp/kindness>



ホームページ



Instagram